

質疑応答の状況 (要旨)

質 問 ・ 意 見	回 答
<p><b>抽出案件について</b></p> <p><b>1 長河改修第15号 新川 河川改修工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合評価において、受注能力とはどのようなものか。</li> <li>総合評価において、機械・運搬具の保有残高がどの事業者も10点であるが、点数の付け方については定期的に見直しをしているのか。香川県独自の基準なのか、全国共通の基準なのか。基準を変えることは独自に可能か。</li> </ul> <p><b>2 香東川総合開発事業 柁川ダム 付替県道法面工事(田中第36工区)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同時に同じ内容の複数の工事を発注する場合の落札者の決定方法について、それぞれの発注ごとではなくて、全体で考えて最適な業者を決定するという方法をとることはできないという認識でよいか。</li> </ul> <p><b>3 (ゼロ県債)国道436号外14線 道路維持修繕工事(道路巡視補修工)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各業者の入札金額にあまり差がないのは、工事の内容から大体の金額が想定されるためか。</li> <li>落札業者の所在地は豊島であるが、毎日フェリー等で移動し現地を巡回しているのか。その場合、小豆島が所在地の業者よりもコストが高くなると考えられるが、問題はなにか。</li> <li>災害で道路が破損した場合はどのように対応するのか。</li> </ul> <p><b>4 ゼロ県債 No.1 港湾施設維持修繕工事(朝日地区外)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見なし</li> </ul> <p><b>5 県道土庄内海線道の駅「大坂城残石記念公園」トイレ改修工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去4年間の受注総額の年平均に対する、入札時点における当該年度の受注額の割合を算出し、一定の点数を与えるものである。受注額の割合が低ければ受注能力(余力)があるということで点数が高くなる。</li> <li>保有残高が2000万円以上は10点としている。香川県総合評価委員会で審議し、評価項目として決定している。</li> <li>同時に入札公告を行う時、入札公告の中で、前の工事の落札候補者は、後の工事の落札候補者にならないこととしている。</li> <li>そのように考えられる。</li> <li>実際業者がどのように対応しているかは分からないが、そういったことも考慮した上で応札していると考ええる。</li> <li>エリアごとに対応することとしており、業者と県職員がパトロールで状況を確認し、問題がある場合は復旧工事を業者にお願いする。</li> </ul>